

## 各製油所で、 省エネや廃棄物削減に取り組んでいます。

### 省エネ活動

製油所では、原油の精製に、多くのエネルギーを使用し、大量のCO<sub>2</sub>を排出するため、省エネルギーによる地球温暖化防止に注力しています。石油業界は、エネルギー消費原単位を、2010年度までに1990年度比で10%削減するという目標を立てており、コスモ石油は、2001年度ですでに9.1%の削減を達成しました。

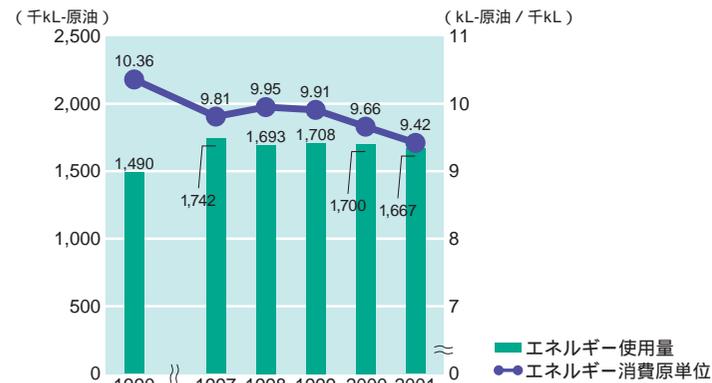
省エネのための主な施策として、千葉製油所、四日市製油所、堺製油所に、コージェネレーション設備を導入しています。コージェネレーション設備は、製油所内で発電を行うため、送電ロスが少ないだけでなく、発電時に発生する熱で蒸気を発生させることにより、エネルギーを有効利用することができます。



千葉製油所の  
コージェネレーション設備

エネルギー消費原単位  
製油所の総エネルギー  
使用量を原油換算処  
理量で割った値で、こ  
の値が小さいほど、少  
ない環境負荷で石油の  
精製が行われているこ  
を示します。

### エネルギー使用量の推移



### 6千トン以上の廃棄物を削減

製油所で発生する産業廃棄物の分別、再資源化、減量化を推進し、1990年度比で78.4%、年間6,477トンの廃棄物最終処分量の削減を達成しました。製油所で発生する産業廃棄物の大きな割合を占めているのが、精製工程で発生する廃触媒と、排水処理工程で発生する余剰汚泥です。コスモ石油では、使用済み触媒の再資源化や、余剰汚泥の脱水・焼却による減量化などで、廃棄物の削減に取り組んでいます。

### 産業廃棄物のフロー

